

6. 北陸（地域別調査機関：（財）北陸経済研究所）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	－	－
	やや良くなる	百貨店（売場主任）	・価格訴求商品に偏ることは想定されるが、遅れている秋物商品が動きだし集中すると考えられ、9月度単月でのプラスは期待できる。
(北陸)	変わらない	スーパー（店長）	・競合店の動きを見てそう判断した。
		一般レストラン（スタッフ）	・各社からWi-Fiスポット設置の依頼や光回線への移行などインフラ関係の工事の話が多く、またスマホへの買い替え、パソコンからタブレット端末への買い替え、WindowsXPから7への移行などIT関係の企業が忙しいと聞いている。
		住宅販売会社（経営者）	・見込み客の動きが活発化する。
		住宅販売会社（従業員）	・地価の下げ止まり感と消費税率アップのため、高所得者層を含め動きが出ている。
		住宅販売会社（従業員）	・消費税増税により、特に新築住宅において多少の駆け込み需要がある。
		住宅販売会社（従業員）	・現行税制の適用についての照会件数が徐々に増えており、一方で展示場の来場者が確実に伸びていることから商談件数アップが見込まれる。
		商店街（代表者）	・購買意欲向上につながる要因がない。
	商店街（代表者）	・引き続き暑い日が続くそうで、衣料品はぼちぼち秋物を先行して展示しているが、何となく違和感を感じる。購買意欲を感じるような目新しい商品もないようだ。	
	一般小売店〔事務用品〕（役員）	・自社を取り巻く経済環境は不透明であり、変わらないものと考えられる。しかし、自社のことだけを考えると、販売目標の到達度にばらつきがあり、さらなる努力が必要となる。	
	百貨店（営業担当）	・この残暑が9月のどこまで続くのかなと感じている。ひとつには気温の問題もあるが、秋のファッション的な部分からいけば、トレンドと言われているものがなかなか見いだせない。暮らし関連にあっても、エコ商材といったものも、ちょっと頭打ちになっており、なかなか消費の切り口になるようなヒット商品なり、そうした目新しいものが見受けられない。先行きは、まだ今の状態が続くのかなという気がしている。	
	百貨店（営業担当）	・夏物のセール期間が長い分、2～3か月先の秋物の商品についての興味は湧くとは思われるが、消費税に関する客の印象が懸念材料になっている。	
	百貨店（売場担当）	・月間の累計総売上が前年同月比96%と苦戦中であるが、累計客数は前年を超え、同102%と伸びている。結果、客単価がダウンしている傾向がずっと続いているため、大きな変化は見られない。	
	スーパー（店長）	・競合状況やまわりの環境をみても、セール価格は集客のためこれまで以上に下がる一方であり、最終的に見ても買物動向はシビアなもので、つい買いや衝動買いも少なくなっているものと思われる。	
	スーパー（総務担当）	・小売業において競争が激化しており、出店、閉店、合併が順次行われている状況であるため、物流・製造・販売において、一部の業者は上向くが大多数は下降をたどると思われる。	
コンビニ（経営者）	・目的買いの人が多いのが現状で、それ以外の物はあまり動きが良くないのは変わらない。また、猛暑の影響で何とか売上は良かったが、今後は分からない状態が続く。		
コンビニ（店舗管理）	・電気料金の値上げや消費税増税の法案が国会を通るなど閉塞感が増している。活発な消費活動とは逆のベクトルが継続する。		
衣料品専門店（経営者）	・悪くなくても、良くなることはないのではないだろうか。別件の情報だが、10年以上前にある企業の福井支店が、金沢支店に吸収された。前年あたりから、企業の北陸拠点が富山に移動している。こうした事が起こっている。		
衣料品専門店（経営者）	・天気予報では、この先も暑い日が続くということで、単価のとれる秋物の動きが遅れ、この秋も期待できそうにない。		
衣料品専門店（総括）	・よくなる要素が思い浮かばない。		
家電量販店（店長）	・売れているスマートフォンやお掃除ロボットなど新商品に力を入れていくが、特別な右肩上がりとはいかない。		
家電量販店（管理本部）	・来客数は上昇傾向ではあるが、買上客数の伸びが少ないのに加え客単価の低下に変調が見られない。		

乗用車販売店（経営者）	・エコカー補助金が終了すると購入に対しての利点が1つ無くなり、それに変わる材料がしばらく見当たらない。
乗用車販売店（経営者）	・新型や次年度モデルにますます客の関心が移る時期に入り、エコカー補助金なみの施策が打てるかが勝負となる。
自動車備品販売店（従業員）	・新車の動きが鈍く、高額商品の販売に大きく影響している。また、ディーラー装着比率が高まり、冬季用品にも影響すると予測される。
住関連専門店（店長）	・気温が下がってくれば動きも変わってくると思われるが、この残暑が秋物に影響しそうである。
その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経営者）	・現在までの1～2か月の様子をみていると、現状と全然変わらない感じがするため、今後2～3か月経っても、景気は良くなるとは言えないし、悪くなるとも言えない状況である。
その他専門店〔医薬品〕（総務担当）	・客の買物動向は、必要な物だけに絞り、不要不急の商品は買い控える傾向が続いている。メタボ、ダイエットといったセルフメディケーションは定着しつつあるが、健康食品や化粧品などの高単価商品の動きが鈍い。
その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・衣料品の堅調さに比較して、生活関連品の販売が不振である。
高級レストラン（スタッフ）	・秋の行楽シーズンと11月にはカニの解禁が始まるが団体旅行の出足は悪く、過去5年では最低の受注状況である。
都市型ホテル（スタッフ）	・秋季観光シーズンに入るが、季節的な要素のみで景気を上向かせる積極的な理由がない。
旅行代理店（従業員）	・現在の団体の受注量からすると、良くなるを期待したいが、一方、個人の動きが止まっているので、大変厳しい状況には変わりはない。
タクシー運転手	・節約傾向は依然としてあり、外出の時は家族の人が送迎をするため、タクシー利用は少なく、あまり良くない。
タクシー運転手	・これから稲刈りなどがあり、夜はあまり人が出ない。
通信会社（職員）	・地元では堅実な経営をしている企業も多いことが、県内の就職率の高さに表れているが、国内・海外ともに不安材料も多く抱えていることから現状維持が精いっぱい状況である。
通信会社（社員）	・スマートフォン需要は確実に増えているが、想定範囲内である。
通信会社（営業担当）	・販売量に直結するような新製品はもう少し先の発売になると思われる。
通信会社（役員）	・大手通信事業者との競合は依然として厳しいなか、新規契約から解約を差し引いた純増数はややプラスの状況にある。しかし、下旬に大手通信事業者によるインターネット料金の値下げ発表があり、今後の競合がさらに厳しくなると予想している。
通信会社（営業担当）	・新商品の発売も始まり期待をしていたが、思ったより反応が薄く販売量に変化がない。
美容室（経営者）	・景気のいい話題は、最近耳にしたことがない。
住宅販売会社（従業員）	・土地の供給量も増え客の動きもあるが、相対的に価格の安いハウスメーカーでの建築に動いており、中高級志向は少なくなっている。消費税率アップ確定の影響か、土地価格に割安感はなくなっており、建物にしわ寄せがくる。
やや悪くなる	
一般小売店〔精肉〕（店長）	・販売量が順調に伸びてきていたなか、今月は少し下がっている。この傾向は、今後少し続くような感じがする。
一般小売店〔鮮魚〕（従業員）	・逆新幹線効果を懸念している。旅行会社は新幹線開業を控えている北陸のツアーを企画しておらず、開業までは観光客の増加は見込めないと聞いている。
一般小売店〔書籍〕（従業員）	・政局の不安定感が消費の縮小に直結し、景気はどんどん低迷しそうである。
スーパー（総務担当）	・競合店の出店、ディスカウント販売など更なる価格訴求商品の増加が予想されるため売上の確保が困難になる。
スーパー（統括）	・現状を見ていると、上がる要素がみられない。また、四季の気温がずれているなかで、販売する商品が気温と時期に合っていない分、特に季節商材の売上が先行き不透明である。さらに、全体的に電気料金が値上げになっているためいろいろな影響が出てくる。
コンビニ（経営者）	・おでんや中華まんなど、冬に向けての商品の販売によって、夏シーズンよりも廃棄の金額が増えるのではないかと心配している。

		乗用車販売店（役員）	・モデルチェンジの車種もあるが、その効果が表れてくると思われるのが翌年の1月以降になるため、10月～12月の四半期は大変厳しいと推測している。前年とは真逆の状況に自動車販売業界はなるだろう。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	・どん底のところをずっと来ていたと思っていたが、もしかすると、これ以上にどん底が待っているのではないかと思うほど不安になるような景気の悪さである。
		一般レストラン（店長）	・9月の予約状況を見ると、例年より悪い。
		スナック（経営者）	・人員整理されたりとか、採算の採れない仕事が多いなどと耳にし、見通しが悪い先々を考えると少し悪くなる感じがする。
		観光型旅館（経営者）	・9月以降の団体シーズンの集客が悪く、依然客の流れは東へと流れているように思われる。
		観光型旅館（スタッフ）	・予約保有は、8月は前年同月比99%、9月は同83%、10月は同86%となっており、団体客が確保できていない分まだ苦しい状態が続いている。
		都市型ホテル（スタッフ）	・大型の予約はなく、前年同月の維持は厳しい見通しである。
		通信会社（営業担当）	・スマートフォンの新機種の発売が予測されるため、販売されると新製品に集中し既存製品が売れなくなるため、全体的な販売数低下につながると思われる。
		競輪場（職員）	・現在行われている本場ビッグレースが終了すると、一段落した感じになり、しばらくは売上向上が見込めない。
		その他レジャー施設（職員）	・夏季・最盛期での入会数が伸びず、それ以降の会員動向が全く読めない。
	悪くなる	コンビニ（店長）	・まだ先の話だが、消費税増税が懸念事項である。税金関係の値上がりはたばこで経験しているが、たばこは売れていても、他のものの買い控えが増える傾向があった。8月がこれだけ天気が良くても、前年に比べてこの程度の売上だったことを考えると、今より良くなるという要因が一切考えられない。ただ、経営努力などもあると思うが、今後の展開によっては買い控え、もしくはコンビニ商品ではなく、消費税が上がる前に、何か大きな買い物をしておこうという客が、そうした所でお金を使い、コンビニでお金を落とす機会が少なくなってくるのではと懸念している。
		テーマパーク（職員）	・向こう3か月の予約状況を見ると、前年同月比で10～20%の大変弱い動きとなっている。前年の東日本大震災の影響で秋に客が多かったこともあるが、今年は円高による海外旅行や東京スカイツリーのオープンなどで、団体・個人の客を含めて、首都圏の方へ流れる傾向があり、先々の予約状況も大変厳しい状況にある。
企業動向関連（北陸）	良くなる やや良くなる	—	—
		金属製品製造業（経営者）	・2～3か月先の分の受注の入り具合を見ると、やや良くなる。
		金融業（融資担当）	・大型消費財に関係する業種では、早くも消費税率引上げの前倒し需要を取り込めるという機運が出ている。その後の反動減はもちろん怖いのだが、それまでは特に大きいものは、堅く動いていくのではないかとと思われる。
		不動産業（経営者）	・同業者に聞くと、2～3か月先の情報としては良いものが出ており、良くなるのではないかという話が聞いている。
		税理士（所長）	・今はちょうど年度の中間ということになる。一応政府の予算執行も進んでおり、色々な大手企業の年度計画に伴う設備計画や色々な事業計画も進んでいる。その関係で、中小企業に仕事が今順調にきている時期ではないかと思う。この後の対外的な問題や、政治が安定していれば、中小企業、民間企業は色々な計画が立てられるため、回復するのではないかと思うが、外的な要因だけが心配である。
	変わらない	繊維工業（経営者）	・下期に期待をかけていたものの、引き続き厳しい受注環境が続くそうである。
		プラスチック製品製造業（企画担当）	・住宅市場を考えると3か月、6か月で、今のところ大きく動きが変わるといったネタは見えてこず、「変わらない」という答えになる。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・欧州の信用不安、円高、新興国の景気減速感など景気回復のきっかけが見当たらない。国内需要の回復が望めないなか、支えてきた輸出の景気にも影が鮮明になってきた。
		精密機械器具製造業（経営者）	・年末に向け、在庫調整のため若干生産数量が少なくなるが、例年の変動レベルに比べれば変動幅が小さく安定的な生産計画となっている。

		建設業（経営者）	・採算性を無視した価格競争が続き、受注しても採算性の悪い工事に追われるという状況は、変わらないであろう。	
		新聞販売店〔広告〕（従業員）	・業種別の売上に格差があるものの、平均ではやや良好ではある。	
		司法書士	・大規模な取引、建築はあったが、一部事業者に限定されている。	
やや悪くなる		食料品製造業（役員）	・原料および光熱費の価格が上昇傾向であり、収益に悪影響を及ぼすことが危惧される。	
		電気機械器具製造業（経理担当）	・通常電子部品は、まずコストダウン、その後に受注減とながってくる。したがって、通常の例からしても、コストダウンが始まった後は数量が落ちるものと思われる。他に、国内、海外に増えるような要素がある製品がないため、総体的にはこれから、受注量が落ち、販売量が落ちていくと考えている。	
		輸送業（配車担当）	・中東の状況が今後急速に好転するとは考えられず、原油の供給が不安定のまま推移する。また、欧州の信用不安も、今後急速に回復するとは考えられず、それに伴って中国の経済状況が好転するとは思われない。	
		金融業（融資担当）	・オリンピックも終了し、政治的にも不安定な状況が国内で続いている。中国や韓国との外交問題の影響もあり、やや景気的には下振れの動きもあるかと考える。	
悪くなる		繊維工業（経営者）	・1つは、国内の政局不安定と政策の決定の遅れで、消費者は慎重であり買い控えていく。2番目に海外であるが、景気の減速の動きが世界的に広がりつつあり、輸出は特に厳しくなるだろう。	
		一般機械器具製造業（総務担当）	・円高がこのまま続けば、企業の存亡を脅かす可能性がある程厳しい状況が続いている。	
		建設業（総務担当）	・工事発注量は依然として低調に推移すると思われ、引き続き厳しい受注価格競争が予想される。消費税率引上げ前に設備投資を検討する動きが出始めている。	
雇用 関連 (北陸)	良くなる	—	—	
	やや良くなる	—	—	
	変わらない		人材派遣会社（役員）	・一時的な需要に対する動きが続きそうである。適材適所の人材確保が鍵となるだろう。
			求人情報誌製作会社（編集者）	・新規大口雇用の話が出てこない。
			新聞社〔求人広告〕（担当者）	・しばらくは求人に対する動きは、そのまま続くと思われる。
			職業安定所（職員）	・新規求人数は前年同月比で増加しており、求人意欲は上昇傾向にあるが、一部産業では円高の影響や受注減などにより意欲は低下している。
			職業安定所（職員）	・企業から今後の見通しが不透明とする声が多く聞かれる一方で、欠員補充のための更新求人も継続してニーズがあると思われ、今後の状況に大きな変動はないと考えられる。
			民間職業紹介機関（経営者）	・県内のリードすべき製造業の求人が増えてこないことで、全体的にしばらくこの状態が続きそうである。
	やや悪くなる		職業安定所（職員）	・100人規模の人員整理が今後予定されていることや、大手電機メーカーのリストラ策の影響も出始めている、予断を許さない状況である。
	悪くなる		人材派遣会社（社員）	・消費税増税が、デフレスパイラルを悪化させ、財政破綻へと突き進む。